

## 令和 2 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

## □令和 2 年度 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会事業計画(案)

今年度は、第二次明知鉄道沿線地域公共交通網形成計画に基づく取り組みが2年目となり、当計画に定める目標達成に向けた施策と事業を実施していきます。

昨年度の目標達成に向けた公共交通に関する取組み内容の評価から得た課題と対応方針を踏まえて、引き続き明知鉄道を基軸とした公共交通ネットワークを構築していきます。

明知鉄道については、安全運行に不可欠な老朽施設の更新を行うとともに、大河ドラマ等を活かしたチャンスが一時的なものとならないよう、リピーターの増加に努めていきます。

バス運行については、全体的に利用者の減少が続いているため、デマンド交通における新規利用者を掘り起こすための利用促進や高齢者利用の増加が図れるよういきいきサロン等に出向いた利用促進、利用者ニーズ・地域ニーズに応えた交通体系の再編に努めていきます。

地域全体で守り育てる意識を持ってもらうよう地域、事業者、行政が協働で検討を進めていきます。(令和元年度の取組み内容と評価は、資料 1 を参照)

事業内容は、主に次のとおりとします。

## (1) 会議

会議名	主な内容
第 1 回協議会 書面決議 (令和 2 年 5 月 27 日)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和元年度事業報告並びに収支決算報告について</li> <li>2. 令和 2 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について</li> <li>3. 恵那市地域内フィーダー系統確保維持計画について</li> <li>4. 明知鉄道生活交通改善事業計画について</li> </ol>
第 2 回協議会 (令和 2 年 12 月中旬)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について (陸上交通における地域内フィーダー系統)</li> <li>2. 令和 3 年度活動方針(案)について</li> </ol>

(2) 主な事業

事業名	内容等	
<b>第二次明知鉄道沿線地域公共交通網形成計画の推進</b>		
<p><b>【目標1】</b> 公共交通を「支える」「活用する」 地域住民の活動促進</p>	<p>1. 公共交通を「活用」する市民の意識づくり</p>	<p>1. 観光列車やイベントでの市民による活動 2. 地域イベントと連携した公共交通の活用 3. SLの復元を通じた地域づくり 4. 住民活動や高校生に使いやすく人が集う駅づくり</p>
	<p>2. 公共交通を「支える」市民の活動促進</p>	<p>1. 明知鉄道が有するさまざまな価値の発信 <b>2. 沿線環境の整備</b> ・ <u>地域住民による沿線環境（景観）整備・植樹</u> ・ <u>明知鉄道連絡協議会による沿線景観整備、植樹イベント開催（継続）</u> <b>3. 収入源の拡大</b> ・ <u>各種定期券の販売検討</u> <b>4. モビリティマネジメントの推進</b> ・ <u>3K（高齢者、高校生、観光客）サポートの推進</u> ・ <u>ふれあい列車運行、高校生ミーティング開催、高齢者団体への利用促進PR、バス時刻路線マップ作成</u></p>
	<p>3. バス運転手確保に向けた全市的な取り組み</p>	<p><b>1. 職業紹介企業との連携による募集活動</b> ・ <u>就職・転職支援企業と交通事業者との連携による求人募集</u> ・ <u>合同企業説明会への出展支援（運転手確保）</u> ・ <u>官民の連携による意見交換会の開催</u> <b>2. 資格取得の奨励策の調査・検討</b> <b>3. 有償運送等運転手の養成講座の開設</b></p>
<p><b>【目標2】</b> 沿線への移住定住を促す地域公共交通ネットワークの形成</p>	<p>1. 地域全体の総合的な公共交通ネットワークの形成</p>	<p>1. 恵那駅周辺での循環線の新設 <b>2. 幹線と地域路線の見直し</b> ・ <u>地域路線（岩村・山岡デマンド）の改善と検証</u> ・ <u>「地域内フィーダー系統確保維持計画」に基づく事業の実施（上矢作地区のバス路線の運行とフォローアップ調査）</u> <b>3. 明知鉄道の1時間1本化</b></p>
	<p>2. バスによる通学利用促進</p>	<p>1. 通学路線のルートやダイヤ、運賃の検証・改善 2. スクールバスの調査・活用 <b>3. 運賃のキャッシュレス化</b> ・ <u>動向調査、方策検討</u></p>
	<p>3. 地域によるバス運営の展開</p>	<p>1. 自主運行バス運営方針の遵守 <b>2. 地域検討会の開催</b> ・ <u>路線見直し基準・路線再編に伴い随時開催</u> <b>3. 地域移送サービスの発展支援</b></p>

	4. 快適な公共交通利用環境の整備	<b>1. 施設の更新</b> <b>明知鉄道</b> <u>・線路設備 レール交換（阿木～飯羽間）</u> <u>PCマクラギ交換（山岡～明智）</u> <u>マクラギ同種交換（東野～飯沼、飯羽間～岩村）</u> <u>・防護設備 法面固定（山岡～野志）</u> <u>・防護設備 線路側溝（阿木～飯羽間、山岡～野志）</u> <u>・保安通信設備 通信ケーブル取替（岩村～明智）</u> <u>・線路保存 橋りょうペイント塗替（恵那～明智）</u> <u>・車両保存 重要部検査（1両 アケチ11号）</u> <b>自主運行バス</b> <u>・車両更新計画の策定</u> 2. P&R、サイクルトレインの推進 3. 鉄道・バス共通1日乗車券の販売
	5. 関係者との連携強化	1. 恵那峡線・蛭川線・中津川線・明智線の改善等 2. 隣接自治体との関係強化・組織間ネットワークの充実
【目標3】 域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備	1. MaaSを意識した観光資源を結びつける取り組み	1. 運賃のキャッシュレス化（2-2-3 再掲） <b>2. 路線検索システムの構築</b> <u>・検索運用（ダイヤ改正に伴うデータ更新等）</u> <u>・検索システムの活用検討</u> 3. 日帰り旅コースの設置・運用
	2. バリアフリー化を通じたサービスアップ（現状維持から発展へ）	1. 駅舎などのバリアフリー化 2. ボランティア車掌の創設 3. 外国語案内・バス系統番号の表示
	3. 観光列車の推進	1. 観光列車と広報・周知の充実 2. 観光列車やイベントでの市民による活動（1-1-1 再掲）
その他		1. 明知鉄道 貨客混載による収入源の拡大 2. 自主運行バス 定期券・回数券販売所の共通化 3. 自主運行バス 定期券の種類を増やす

※ 上記事業の詳細については、「第二次明知鉄道沿線地域公共交通網形成計画」のVI 目標達成のための施策・事業（P47～66）を参照

□令和2年度 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会収支予算書（案）

【収入の部】

（単位：円）

款	項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (R2-R1)	説明
1 負担金	1 負担金	1 負担金	3,000,000	3,200,000	▲200,000	恵那市
2 補助金	1 補助金	1 補助金	0	0	0	国
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	1,489,998	1,028,071	461,927	前年度繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 雑入	1,002	929	73	預金利息
合 計			4,491,000	4,229,000	262,000	

【支出の部】

（単位：円）

款	項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (R2-R1)	説明
1 運営費	1 会議費	1 会議費	60,000	60,000	0	協議会開催経費
	2 事務費	1 事務費	50,000	50,000	0	消耗品費、役務費、印刷費など
2 事業費	1 事業費	1 事業費	4,281,000	4,019,000	262,000	・フォローアップ調査 ・利用促進・PR事業（バス時刻路線マップ作成等）
3 予備費	1 予備費	1 予備費	100,000	100,000	0	
合 計			4,491,000	4,229,000	262,000	